

## 2022 年度:こども園自己評価の報告書 旭丘こども園

評価項目	取り組み状況
<p style="text-align: center;"><b>教育・保育方針</b> <b>教育及び保育の目標</b> <b>全体計画・指導計画</b></p> <p>こども園として特に配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育課程</li> <li>・教育環境の整備</li> <li>・研究の取り組み 等</li> </ul>	<p>園内研究のテーマの「心も体もしなやかに、仲間の中でいきいきと育ち合うための物的・人的環境を考える」から、子ども達の体幹を育てる遊びや保育教諭の援助等について学ぶため、外部講師を招いて研修を実施した。その後、各学年で学びをどのように保育に取り入れたか報告会を持ち、意見交換を行いながら学びを深めた。</p> <p>人権研修を「子どもの心の性」「子どもの人権」「同和問題（結婚差別）」をテーマに3回実施し、お互いに意見交換する中で自身の人権に対する意識を振り返り、様々な気づきが得られる機会とした。</p>
<b>健康支援</b>	<p>年度の初めに計画した「保健指導計画」について、子ども達が理解しやすいように年齢に応じた教材を準備しながら保健事業を行った。</p> <p>また、5歳児に性教育“いのちの話”を数回に分けて実施し「自分（の命・気持ち）も大事、友達も大事」と子ども達が感じられるよう取組んだ。</p>
<b>安全管理</b>	<p>今年度も避難訓練（総合訓練）に消防署職員に来ていただき、日頃行っている避難訓練の見直しを行った。また、2歳児クラス以上の園児については、下期に上靴着用を導入したことで、避難がより安全に速やかに行えるようになった。</p>
<b>食育の推進</b>	<p>各学年で季節に応じた野菜を育てて成長や収穫を楽しみ、保育教諭が目の前で調理をしたり友達と調理をしたりして食べることで「食」に対する興味関心につながった。</p> <p>地域支援事業で「手作りおやつ講座」を実施したり、給食の人気メニューのレシピを気軽に持ち帰れるように配架したりする等、地域への食育の発信も行った。</p>
<p style="text-align: center;"><b>子育て支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園している子どもの保護者</li> <li>・地域の子育て家庭</li> <li>・地域との連携 等</li> </ul>	<p>今年度から東泉丘校区が担当校区に加わったため、顔つなぎと地域連携を深める目的で子育てサロンや公園ほっとタイムに積極的に出向いて交流を深めた。</p> <p>園内における感染症の流行が気になる地域の方が一定数おられるので、安心して事業に参加できるよう今年度も時間短縮のうえ人数制限をしながら実施した。</p>
<b>教育・保育内容</b>	<p>昨年の反省から「教育保育環境ガイドライン」を活用しながら各学年で公開保育を行った。「教育保育ガイドライン」のチェック項目を基に職員間で意見交換することで、子ども達の姿や担任との関係性がより明確になり、日々の教育保育に反映することができた。</p> <p>また、定期的に行う保育会議の中で、各学年の年間指導計画、月間指導計画、子ども達の関係図等から見えてくる子ども達の姿や課題について意見を出し合い、その後の方向性を確認しながら教育保育を行った。</p>

<p>特別支援教育</p>	<p>支援の必要な園児について、保護者の思いを傾聴しながら指導計画を作成し、担任と共通理解のもと教育保育をすすめた。また、定期的に支援担当が集まり、保護者支援と子ども理解を深めるための関わり方等について情報交換を行った。</p>
<p>職員の資質の向上</p>	<p>人権研修や外部講師による職員研修を通して、子ども達の主体性を大切にしたい関わり方やあそびの展開、相手の気持ちに寄り添った話の聞き方や寄り添い方等を学び、コミュニケーションスキルの向上や、子ども理解を深める機会になった。</p> <p>園外で実施される研修に積極的に参加し、参加した職員から資料の配布や回覧、会議の場で報告することにより、他の職員の学びにもつながった。</p>
<p>幼保こ小中の連携</p>	<p>5歳児が入学前から他園の友達とつながる機会を作り、期待感を持って園生活を送れることを目的に、小学校のグラウンドや公園で交流する機会をもった。</p> <p>幼保こ小連絡会議に参加し意見交換する中で、小学1年生の様子から見えてくる就学前に大事にしたい事や経験を確認し、保育内容に反映した。</p>
<p>関係者評価の取り組み</p>	<p>評議員会を3回実施し、園で行っている教育保育の様子や地域支援事業を見ていただいた。そのうち1回は避難訓練（総合訓練）の様子を見ていただき、様々な意見を頂いたことで、日頃行っている避難訓練の改善につながった。</p>

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

<p>課 題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>
<p>教育保育内容の見直し</p>	<p>新型コロナウイルスが第5類に移行していくことを見通して、就学前の子ども達の育ちに欠かせない「人」との交流（異年齢の友達や職員・保護者・地域の方等）を大切にしたい保育、行事の持ち方等を検討していく。</p>
<p>保護者の方が気軽に相談できる居場所づくり</p>	<p>保護者アンケートを昨年と比較すると、保護者の方の育児に対する不安感が若干増えているが、「園が相談できる環境づくりに努めている」項目が横ばいであった。今年度職員研修で学んだ「より良い保護者支援」を活かしながら、園が気軽に子育ての悩みが相談できる、保護者にとって「安心な居場所」になれるよう努めていく。</p>

令和5年（2023年）3月31日

豊中市立旭丘こども園

園長 林 正子